

社会資本総合整備計画 事後評価書															
計画の名称	朝倉市の快適な生活環境の整備（重点計画）														
計画の期間	平成31年度 ～ 令和05年度（5年間）												重点配分対象の該当	○	
交付対象	朝倉市														
計画の目標	下水道の整備促進により、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図り、安全で安心して暮らせる生活環境を確保する。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		1,814	A	1,814	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H31当初)		(R5末)
1	・下水道処理人口普及率を43.0%（H31当初）から51.0%（R5末）に向上させる。			
	下水道処理人口普及率	43%	%	51%
	下水道を利用できる地域の人口(人)/行政人口(人)			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	朝倉市	直接	朝倉市	管渠（ 污水）	新設	筑後川中流右岸処理区汚 水幹線整備	污水幹線 L=2,652m	朝倉市			■	■		276		—
	A07-002	下水道	一般	朝倉市	直接	朝倉市	管渠（ 污水）	新設	筑後川中流右岸処理区汚 水枝線整備	污水枝線 A=87.2ha	朝倉市	■	■	■	■	■	858		—
	A07-003	下水道	一般	朝倉市	直接	朝倉市	管渠（ 污水）	新設	朝倉処理区污水幹線整備	污水幹線 L=689m	朝倉市	■	■	■	■	■	47		—
	A07-004	下水道	一般	朝倉市	直接	朝倉市	管渠（ 污水）	新設	朝倉処理区污水枝線整備	污水枝線 A=43.9ha	朝倉市	■	■	■	■	■	633		—
											小計						1,814		
										合計							1,814		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
上下水道課で事後評価を実施	令和6年4月
	公表の方法
	朝倉市HPに掲載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・ 下水道処理人口普及率が、43%から60%となり、8,961人が下水道を使用できるようになった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
令和元年から令和5年までの5年間で社会資本総合整備計画による下水道事業を行い、定量的指標を達成することができた。今後も汚水の未普及対策と雨水による浸水対策を進めていきたい。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率		
	最 終 目標値	51%	目標達成
	最 終 実績値	60%	